



第3回

ワクチン接種 予約したら記入して病院に

お名前	メモ
-----	----

3回目接種日時 ____月 ____日(____) ____時 ____分

接種病院名



接種券

[illegible]

本人確認ができるもの

予診票

予診票

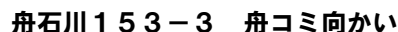
- ☐ 現在何らかの病気の治療を受けていますか
- ☐ その病気を診てもらっている医師に予防接種の許可はもらいましたか

東海村の銘店 舟コミ前「ルアール」不思議の国のケーキ屋さん

舟石川コミュニティセンタ向かいにあるケーキ&カフェ
工房ルアール（Luarlu）をご紹介します。

このお店の雰囲気は、正に「不思議の国のアリス」のひとコマに出て来るような夢の世界。これからクリスマス・シーズンに向かって不思議の国の世界は、洗練されたパテシェの腕前で日々進化していきます。

お褒めは、季節感満載のオリジナルケーキとアップルパイ。東海村社会福祉協議会のキャンペーンや共同募金の協賛も一生懸命のお店。店内のカフェは、馥郁としたコーヒーやお茶とともにランチも秀逸。これから家族や友達が集まるシーズンに向かって、楽しいひと時を演出します。



ケーキ&カフェ工房 ルーアル *Luarlu*
☎029-282-2232 休:第2、第4火曜日



みなみ風



Minamikaze Vol. 5

東海村議会議員 みかみ修後援会村政報告 2021年秋号

☎ : 090-1837-3989 e-mail: mikami_osamu@nifty.ne.jp



9月定例議会(本会議)で決まった主な内容

- ・ **令和2年度の決算審査・・・認定**
9議会では前年度の一般会計歳入249億円／歳出242億円と国民健康保険、介護保健下水道、村立病院などの特別・企業会計全10会計を認定しました。
 - ・ 「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求める請願・・・文教厚生委員会が茨城県を訪問して対策状況を調査の結果、本県では一定の対策が講じられており不採択としました。
 - ・ **請願3件を継続審査中**
 - 1) 速やかな広域避難計画の早期策定を求める請願請願
 - 2) 実効性のある広域避難策定に慎重を期し、住民合意の確証を得ることという決議を求める請願
 - 3) 東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願
 - ・ **請願1件を追加審査開始**
 - 4) 日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願（関連記事は本紙裏面参照）
- ここがポイント**
・ コロナ検査費用を補助し、**令和4年の成人式「2022年成人の集い」実施へ成人の集いの開催を心からお祝い申し上げます。**

みかみ修の議会一般質問

皆様の議会傍聴を心からお待ちしております！

- ここがポイント** エネルギーのまちの責務：東海村は立地地域の責任を果たしているのか？

原子力施設立地地域の東海村は、なぜ広域避難計画を策定していないのだろうか。笠間市ほか5市町は既に策定済みですが、今回の一般質問でも東海村は、「現時点で策定予定の目処は無い」と答弁。立地地域としての恩恵を享受し続けている東海村の責任として広域避難計画未策定問題に光を当てつつ、課題を解決に導きます。（裏面の解説参照）

 - ・ **高齢者と弱者を守るシステムの強化：民生委員不足対策は**
日本独特の社会福祉システムである民生委員・児童委員は成り手不足の傾向にあり対策が急務。課題を共有し打開策を提案しながら、高齢者や弱者を守る仕組みの強化を促しました。（11月末発行の「議会だより46号」に本件記事を掲載）
 - ・ **買い物難民対策：高齢者だけではない買い物難民の救済を**
村内の市街地から離れた住宅地では、高齢者のみならず働き盛りの年代も買い物難民が発生している。労働条件の変化によって、生活スタイルに制限が出ていることから、高齢者とともに東海村の買い物難民の支援を求めました。

村は対策のため、小売店舗用地の土地制限緩和も検討中。



みかみ修はマスクとペーパーレスのタブレットで一般質問

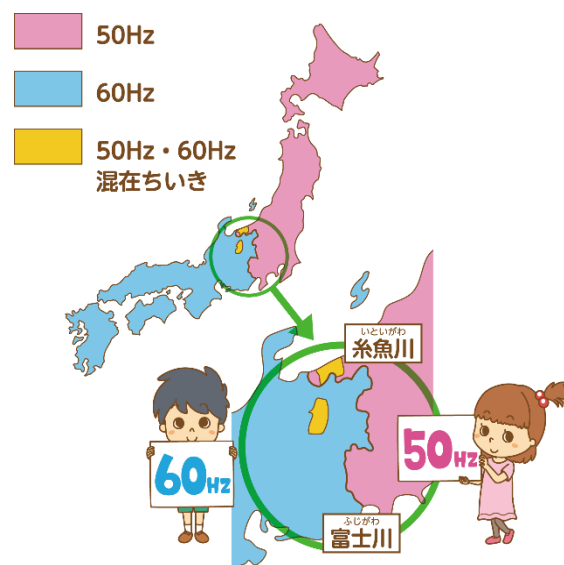
【新連載】 エネルギー・アイ

明るい未来の みんなの電気



第3回 吾輩は電気である ⚡ 今年の冬は電気が足りない！

東京2020オリンピック・パラリンピック大会が無事終了しました。この「無事」という意味は、電力会社や私のような電力技術者にとって、特別な意味があります。当初、オリンピック・パラリンピック大会の開催によって、電気が不足するかも知れないと噂されておりましたので、私たち電力技術者は固唾を呑んで大きな停電が発生しないか見守っておりました。**電気不足の状況で電気が集中的に使われると、発電と供給のバランスが崩れて大停電が起こることがある**ためです。（前号で説明）



周波数の異なる地域を跨ぐ電力流通は世界に冠たる日本の高度技術（資料：関西電力）

日本の基幹電源である多くの原子力発電所が停止している現在、**今年の冬は更に供給の余裕率が下がる**と予想されています。この状況にあって、**電力会社各社は自社の供給枠を超え、高度な連携技術で電気を融通し助け合っています**。冬は関西から関東を経て東北・北海道に電気を送りますが、関西の周波数60Hzを関東の50Hzに変換する優れ技で私たちの生活は支えられているのです。

太陽光や風力発電だけでは、現在の快適な生活は維持出来ない、大量の化石燃料を燃やす火力発電は地球温暖化に向かうばかりで、その化石燃料も供給は不安定で価格は高騰する一方。**叡智を以って安全に大きな電源を活用することこそが、いま私たち求められる選択**に違いありません。

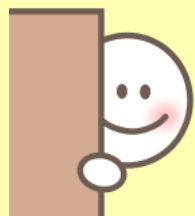
原子力発電所をみんなで見守り、そして安全運転を見届ける社会の実現が望まれます。

寄稿 みかみ修って、どんな人？

私は「技術屋さんに政治は似合わない」という偏見をもっていました。政治の重要課題は「富の再分配」であり、それを実行する際には多くの悩ましい問題が発生します。しかし決して正解はなく、したがって哲学が必要だと考えていたからです。理論を尊重する技術屋さんに、価値に基づく権力行使など馴染むはずがないと思っていました。ところが、出会って正に偏見であることを自覚させられたのでした。

みかみ修さんは電力系統、設備などに精通した正真正銘の技術屋さんでもあります。でも不思議なことに、政治に対する哲学を感じることができるのです。判断は的確で迅速。哲学という内なる基軸をもっているためです。これがないと、どうしても人の意見に迎合しがちになってしまいます。比較検証することができないからです。私の勝手な推測ですが、みかみ修さんは「人間理性の尊重」という哲学を心に秘めているように思われてならないのです。

それは地方自治、エネルギー、経済政策、防災対策などの基本政策に関する議会質疑においても垣間見られます。東海村になくってはならない無類の人物です。（の）



些か照れます～

一般質問解説： エネルギーのまち東海村としての責任とは？

「修学旅行先の旅館では、先ず避難経路を確認しましょう！」。誰でも知っているこの言葉。しかし、東海村は原子力施設の立地地域でありながら、未だ広域避難計画を策定していないのは何故でしょうか。施設の地元という難しさがあることは想像に難くありませんが、笠間市、常陸太田市、常陸大宮市、鉾田市と大子町では既に広域避難計画を策定済み。こうした中で、一部の住民からは「何年間掛かってもよいので、実効性確認の広域避難計画策定を」と、敢えて住民を危険に晒すが如き請願が提出される始末。

これでは行政も前に進めない、何をやっても不毛な「反対のための反対」、感情的に原子力反対を唱え、真のまちづくりの議論は殆どしていなかったのが実態のようです。

これからの東海村をどうしたいのか、自分の子どもや孫たちのために20年後、30年後どのような社会にしたいのかという視点で、引き続き行政に問い続けて参ります。

元駐在員が教える台湾の名店・名所 其の3

鼎泰豊（ディン・タイ・フォン）

「早くコロナ終わってくれないかなあ、海外旅行したい！」という皆さまと、「海外はまだ、ちょっと早いかな」と思う方々に思いを込めて一筆啓上。このレストランは、小籠包（日本語読み：ショウロンポウ）の有名店、現在では台湾国内はもとより、日本の各地や世界の国々に進出している名店「鼎泰豊」兎に角人気の店、中華圏では客が並んでいる店は外れが無いとよく言いますが、この店はその横綱。台北に住んでいても予約を押さえるため歩道に列を成して1時間並ぶのは当たり前、日本からたまに来る会社幹部から「ショウロンポウ食べたい」と言われるのが台北駐在員の最大の恐怖。（笑）



この店は東京等にも出店していますので、コロナの早期収束を祈りながら、台湾に思いを馳せながら名店の味を是非お楽しみください。どこの店でも本店と味が変わらないのが名店の証。

台北には近くて便利な茨城空港から

台湾初のLCC タイガー航空で！ 台湾の信頼の翼 中華航空グループ



写真提供 鼎泰豊油行

村内環境事業者組合が求めた東海第二の早期再稼働のころとは

9月議会では、新たに東海第二発電所の早期再稼働を求めた請願が、東海村環境整備事業協会の川崎敏秀会長（写真）から議会に提出されました。10月19日に開催した原子力問題調査特別委員会において、請願者から請願理由の説明がありました。同委員と請願者の質疑応答があり、「昨今の地球規模の異常気象発生は待ったなし、再生エネルギーへと軸足を移す必要はあるが、二酸化炭素を排出しない原子力発電所を再稼働させて当面安定したエネルギーを確保する必要がある。東海第二発電所は日本のエネルギー政策の象徴であり、その再稼働は極めて重要な位置付けとなる。」と同会長の決意の説明。

日々、東海村村内のもえるごみ、粗大ごみ、資源物などを回収して住民の生活を支え続ける環境事業者団体の真っ直ぐな思いに改めて敬意を表し、議論を尽くして参ります。



東海村環境整備事業組合
会長 川崎敏秀氏